

ノンプログラミングPlatoで楽々始めるIoT in 佐賀

参加
無料

主催：福岡県Ruby・コンテンツビジネス振興会議
共催：特定非営利活動法人軽量Rubyフォーラム
後援：佐賀県、佐賀県ソフトウェア協同組合

定員9名(申込みは裏面へ)

2022年12月21日 水 15:00-17:00 (受付14:30~)

会場 AMCCビジネスラウンジ (佐賀県佐賀市八幡小路1-7)

内容

IoTの利活用・導入が進んでいますが、IoT導入にはハードウェアからネットワーク、データの取り扱いからサービス連携など、幅広い知識が必要で実現が難しく、システムの有用性や費用対効果についても課題を残しているのが現状です。

Plato (プラトン) は各種センサーを内蔵したバッテリーで動作するエッジデバイス、そのデータをインターネットに中継するブリッジデバイス、そして必要なアプリをドラッグ&ドロップで自動生成するフレームワークが一体となったプラットフォームで、コストを抑えながら素早く試作や本格的なIoTを実現することが出来るように構成されています。

この特定の機能のIoTではなく、ユーザー希望で色々使い回せるプラットフォーム「plato」の体験会を佐賀で開催します。

Plato (プラトン) は特定の機能に特化したIoT製品ではありません。様々な環境で、様々なニーズをユーザー自身がノンプログラミングで可能にするシステムです。

IoTシステムはIoTデバイス、ネットワーク構築、サーバサイドシステムなど広範囲な要素から成り立っています。加えて実際の環境での利用となると電源や通信の問題、必要な処理をさせるエッジ側でのプログラム開発などが発生します。

こういう方に

- IoTを始めたい、IoTで解決できそうな課題があるけどどこから手を付けたらよいのかわからない
- IoTはとにかく時間や費用がかかる
- POCだけでなく本番環境でつかえるものがほしい

そのような皆さんにはこのIoTプラットフォームPlatoは最適な解のひとつと言えます。

※Webサービスで圧倒的な人気を誇るRubyを、ものづくり分野(組み込みソフトウェア分野)に適用させるために、国(経済産業省)の支援を受け開発した、福岡県発のプログラミング言語(2012年4月公開)。生産性の高さはそのままに、小メモリや低性能CPUでも動作可能で、IoTデバイス開発で注目されています。



